

その日に作って
履いて帰れる

草鞋づくり体験

わらじ

2023.1.29 SUN
10:00～15:00 小桜館



主催：アメフラシ | 協力：勸進代地区の皆様、一般財団法人 文教の杜ながい

定員
20名
先着順



お申込み
フォーム

古来より農家が冬仕事として担ってきた藁細工。
中でも草鞋は長井に伝統の黒獅子まつりには欠かせない履物として、現在も重要な役割を果たしています。この体験会を通じて農村に受け継がれた技術を知り、地域文化の継承を考えます。

参加費
800円
おにぎり昼食付き

お問合せ・申込み先：(一財)文教の杜ながい 電話：0238-88-4151



講師紹介 Introducing the Teacher

アメフラシ 村上 滋郎 (むらかみ・じろう) 長井市在住

美術家 / アメフラシ代表 / 東北芸術工科大学洋画コース講師
長井ブルワリークラフトマン代表

アメフラシとは？

村上滋郎(美術家)、松崎綾子(画家)、池田将友(文筆家)、金東玉(デザイナー)の、長井市在住の4人をコアメンバーとしたアートコレクティブです。

それぞれが仕事を持ち、生活と創作活動のバランスを保ちながら地方が抱える社会問題を身近に感じ、アートとデザインが持つ力や表現の可能性を追求しています。

実行するプロジェクトの歩みはゆっくりですが、課題や問題の本質をじっくりと見定め、小さな答えを発信しています。草鞋づくりのワークショップは2016年から取り組んでいるプロジェクトの一環です。



アメフラシの草鞋プロジェクト “必要とする人が草鞋を編む”

AMUFURASHI's WARAJI project

黒獅子祭りで獅子を振る獅子連たちが身につける伝統的な衣装に欠かせないのが『草鞋』です。しかし現在では、草鞋作りの担い手の減少、稲の品種改良や農業の機械化の影響により、伝統が失われつつあります。

2018年、西根地区勸進代地区の依頼で、草鞋作りの映像化を行いました。同時に、作り方をイラストで図解した教材も制作しました。さらに稲作りから、草鞋作り体験までのシステムを共に構築し、同地区の年配者と若者が“黒獅子祭りで草鞋を履きたい(履かせたい)”という同じ目的の下、次世代の子供たちも加わり、稲作りから鞋づくりまでを行っています。

※映像作品は、下記 QR コードよりご覧になれます。

YouTube

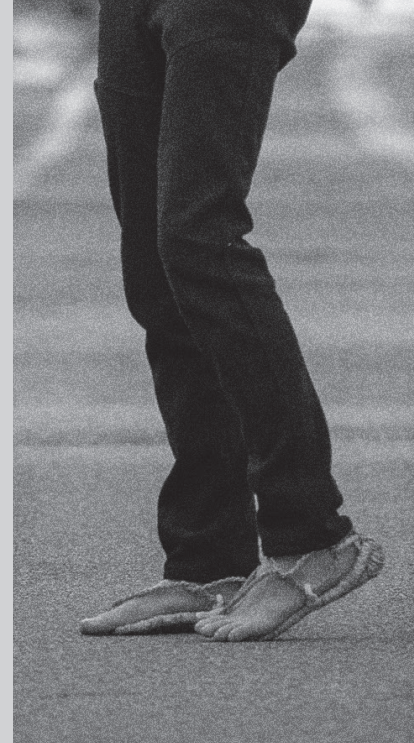


草鞋をつくる



稲藁をつくる

1万再生突破!!



主催：LLPアメフラシ | 協力：勸進代地区の皆様、一般財団法人 文教の杜ながい
お問い合わせ：一般財団法人 文教の杜ながい 山形県長井市十日町1-11-7 TEL:0238-88-4151

